

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-04-01		
施設名	荒川遊園				
所在地	西尾久六丁目35番11号				
部署名	子ども家庭部荒川遊園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成3年 5,052,575	—	—	—
	増改築①	平成6年 2,913,788	—	—	—
増改築②	令和4年 4,398,862	—	—	—	
併設施設					
竣工年月日	—		区職員	その他	
供用開始年月日	—		職員数	15人 委託業者	
構造	—		階層	—	
面積	敷地面積	54,416			m ²
	延床面積	—			m ²
設置目的・経緯	都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指すとともに子育て支援の拠点施設とする				
関連部署	—				
根拠法令等 設置条例	都市公園法、荒川区立公園条例及び同条例施行規則				
駐車場の状況	114台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	約100台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	
事業内容	総面積54,416m ² (A地区(有料地区):31,466m ² 、B地区(プール):5,234m ² 、C地区(地下駐車場):14,141m ² 、D地区(荒川遊園拡張地):3,575m ²) ①遊園地の管理運営(遊戯施設、小型遊具、ふわふわドーム、わくわくハウス(わくわくパーク・売店)、もぐもぐハウス(売店)、一球さん号(売店)、動物広場ほか)②子どもプール管理運営③都市公園維持管理等					
対象者	—					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時(夜間開園時は午前9時～午後8時)				
	休日	火曜日(火曜日が祝日の場合にはその翌日)				
施設基本データ等	入園者数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	子どもプール(人)	—	—	—	385,937	500,000
	地下駐車場(台)	16,035	—	—	14,405	20,428
	大型遊戯施設利用者数(人)	16,802	13,723	15,257	36,253	33,000
	入園料収入(千円)	—	—	—	1,511,975	1,360,000
	乗物券、小型遊具等収入(千円)	—	—	—	70,178	88,000
	フリーパス収入(千円)	612	—	—	74,055	96,749
	子どもプール収入(千円)	—	—	—	247,116	394,901
	地下駐車場収入(千円)	3,760	—	—	3,460	4,911
地下駐車場収入(千円)	7,550	5,320	5,472	27,330	23,046	
指定管理に係る費用						
備考	約3年半の改修工事を経て、令和4年4月21日にリニューアルオープン。4年度前半は予約制による入場者数の制限を行いながら運営。子どもプールについては、2、3年度は休止し、4年度は感染防止対策を行い1日3回入替制により運営した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	行政支差額	金融支差額				通常支差額
行政コスト計算書	給与関係費	46,861	80,743	33,882	地方税等	0	0	0	0	0	0		
	物件費	151,983	481,981	329,998	国庫支出金	0	0	0	0	0	0		
	維持補修費	62,107	9,922	▲ 52,185	都支支出金	0	0	0	0	0	0		
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0		
	補助費等	200	3,215	3,015	使用料及び手数料	6,183	457,228	451,045	6,183	457,228	451,045		
	減価償却費	161,478	266,670	105,192	その他	854	3,159	2,305	854	3,159	2,305		
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,037	460,387	453,350	7,037	460,387	453,350		
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,190	2,939	▲ 3,251	行政支差額(a)-(b)=(c)	▲ 895,935	▲ 451,250	444,685	▲ 895,935	▲ 451,250	444,685		
	その他行政費用	474,153	66,167	▲ 407,986	金融支差額(d)	0	0	0	0	0	0		
	行政費用合計(b)	902,972	911,637	8,665	通常支差額(c)+(d)=(e)	▲ 895,935	▲ 451,250	444,685	▲ 895,935	▲ 451,250	444,685		
	特別費用(g)	0	22,500	22,500	特別収入(f)	22,074	0	▲ 22,074	22,074	0	▲ 22,074		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	22,074	▲ 22,500	▲ 44,574	当期収支差額(e)+(h)	▲ 873,861	▲ 473,750	400,111	▲ 873,861	▲ 473,750	400,111		
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,177	2,939	762	2,177	2,939	762	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	7,414,927	7,154,907	▲ 260,020		賞与引当金	2,177	2,939	762	2,177	2,939	762
		土地	3,492,523	3,492,523	0		その他の流動負債	0	0	0	0	0	
		建物	4,479,243	4,479,243	0		固定負債	24,981	23,426	▲ 1,555	24,981	23,426	▲ 1,555
		建物減価償却累計額	▲ 2,462,908	▲ 2,596,655	▲ 133,747		特別区債	0	0	0	0	0	
		工作物等	3,570,020	3,574,791	4,771		退職給与引当金	24,981	23,426	▲ 1,555	24,981	23,426	▲ 1,555
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,663,950	▲ 1,794,997	▲ 131,047		その他の固定負債	0	0	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	27,158	26,365	▲ 793	27,158	26,365	▲ 793
		建設仮勘定	22,500	0	▲ 22,500		正味財産	7,420,359	7,136,755	▲ 283,604	7,420,359	7,136,755	▲ 283,604
		その他の固定資産	10,090	8,213	▲ 1,877		正味財産の部合計	7,420,359	7,136,755	▲ 283,604	7,420,359	7,136,755	▲ 283,604
	資産の部合計	7,447,517	7,163,120	▲ 284,397	負債及び正味財産の部合計	7,447,517	7,163,120	▲ 284,397	7,447,517	7,163,120	▲ 284,397		
備考	行政費用について、令和4年4月のリニューアルオープンに伴い、遊戯施設等運営業務委託や動物飼育等管理運営委託等に係る物件費が増となり、改修工事関連費用の維持補修費が減となった。行政収入については、入園料や遊戯施設利用料である使用料及び手数料が増となっている。												

指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	81	67	51	54.5	
施設1㎡当たりのコスト(円)	7,117	9,829	17,761	16,783	
来園者1人当たりのコスト(円)	-	-	-	2,277	
開園1日当たりコスト(円)	-	-	-	2,848,866	
受益者負担比率(%)	3	1	1	50.2	
財務指標・評価指標等					
備考	平成30年12月から3年度まで休園し改修工事を行ったため、使用料収入がほとんどない一方で、工事費の支出や園内の維持管理費用が発生した。令和4年4月21日にリニューアルオープンし営業を再開している。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: 荒川区実施計画)						
目標指標	指標名・単位	目標値	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	年間利用者数	実績値	-	-	-	500,000	500,000
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他()	<input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止				
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	小さな子ども連れの子育て世代を中心に、安全に安心して楽しむことができる施設としてニーズが高い。						
現状・課題	<p>○来園者に安全かつ安心して楽しんでいただけるよう、ハード、ソフト両面から安全第一の運営体制を維持していくことが重要である。</p> <p>○子どもから大人まで、幅広い世代の来園者が楽しく快適に過ごしていただけるよう、ホスピタリティ溢れるサービスの提供が求められている。</p> <p>○あらたな客層の取り込みや来園者のリピート率の向上など、中長期的な集客向上に向けた様々な取り組みを実施する必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○各施設の安全点検の徹底をはじめ、区と各事業者間の連携を強化し、事故の未然防止に向けた意識向上を図る。</p> <p>○運営スタッフ一人一人が荒川遊園の顔であるという自覚を持ち、自ら考え行動できるようレベルアップに努める。</p> <p>○区、各事業者それぞれが持てる能力を生かして様々なアイデアを出し合い、イベントの実施等、年間を通して荒川遊園の魅力を引き出す取り組みを継続的に実施していく。</p>						
議会、利用者等からの意見	<p>【令和3年度9月会議】荒川遊園ならではの集客策を講じ、魅力向上を 【令和2年度9月会議】荒川区最大の魅力発信拠点に 【平成30年度11月会議】①都電停留場からの園路をガス灯などを設置したレトロな雰囲気、②多様な媒体を活用した広報戦略を 【平成28年2月会議】夜間営業、イルミネーションを行うべき</p>						

